

平成12年7月(2000年) No. 415

選曲やBGMの編集実技 6月の研究会で関氏が講義

6月の作品研究会は24日13時半より阿倍野市民学習センターの例会場で行われましたが、テーマに対する期待度が高かったせいか、何と21名も参加者があり、嬉しい悲鳴でした。講師の関世話役がMD機材を会場に持ち込み、具体的にMDのBGMを聴かせて、映像にはどの曲が合うか等、選曲のコツや、CD屋さんへ行ってCDを買うときの心得、その他音楽の編集(使いたいところだけをピックアップしてうまくつなげる)やラストを映像とぴったし合わせるコツ等について、時間をオーバーしての熱心な講義と質疑で、充実した研究会でした。テキスト作成の労苦も含めて、関さんには大変ご苦勞をおかけしました。あらためて厚く御礼申し上げます。なお、7月は自由作品がメインですが、8月にはタイトルにつき、過去、全国で発表されたプログラムや公表されているタイトル等を、ジャンル別に分類整理中ですので、研究テーマにしてみたいと考えています。なお、研究テーマのご希望もどうぞお寄せください。

■7月29日(第5土曜日)13時より、第7回「日本を縦断する映像発表会」が阿倍野市民学習センターにて行われます。ぜひご来場下さい。

7月例会のお知らせ

7月例会は22日(第4土)午後6時より、阿倍野市民学習センターにて開催します。今月は去る5月6~7日に行われた淡路撮影会の作品公開審査を主に行います。撮影会参加者はぜひ出品してせっかく撮った映像に陽の目を見せてください。どんな仕上がりになっているか楽しみです。なお時間があれば一般作品も上映しますのでどうぞ。

作品研究会のお知らせ

例会日の午後1時30分より開催。どうまとめたらいいか、アドバイスが欲しい等の作品を遠慮なくご持参ください。少しでもよい作品目指して、第三者の意見を聞くというのも上達の早道ですよ。

6月例会のレポート

安居ファミリーの合同作品が初登場

梅雨の季節でうっとおしい空模様が続いたら、いまますが、例会場には何と
 30名の人が集まり、補助椅子を別室から調達するなど、うれしい悲鳴で
 した。今月の話は、ビデオオムニバスに紹介された前田さんのインタビューネッ
 ト記事を見られた江藤さんと、是非OMCに安居さんのお息子さん夫婦も交えて一
 かから作品をつくらせたいと、安居ファミリーのこの係を渡辺、奥の両氏、受
 入今月の会は有村、石垣、江村、江藤、今井、奥、金子、河合、合原、華岡、
 照明係は安居、増池の両氏担当で、進行しました。
 出席者：有村、石垣、江村、江藤、今井、奥、金子、河合、合原、華岡、
 関、西村、玉井、藤原、中尾、松本、宮崎、森、前田、森田、森下、森口、
 安居夫妻、安居充夫妻、増池、渡辺、吉岡の29氏に見学者石垣氏夫人。

上映作品（今月の講評担当は安居利次世話役です。）

1. 城北菖蒲園 増池 茂さん 6分20秒
 きれいな菖蒲の花を、見に行けない保養園の方々に見せるというコンセ
 プトで作られた作品。

しっかりした構図の見事な菖蒲の花に、圧倒されました。しおれた花を摘
 んでいくカットは、珍しいので、これを作品全体として、どう扱うかで、
 特定の人に見せるコンセプトだけでなく、第三者の鑑賞にも堪えるいいも
 のになるという意見がありました。始めに持つてくると、美しい花を見て現
 もらうための伏線として使えるし、最後にすると美しい花の哀れさを表現
 できると、参考になる意見が多く飛び出しました。

2. 天井川の春 玉井ひとしさん 3分30秒
 川の堤に咲く菜の花を通して、行き交う人々、水面に映る桜の花、きれ
 いなカットが、次々とオーバーラップで描かれています。春の井川か
 いな霧の中、ひとりひきこまれていました。しかし、天井川と
 ういうタイトルが、チョット引っかかり、後半、水面より下の背景を探して
 しまいました。

土木専門の会長からも、天井川の印象についての意見もあり、地元でそう
 いわれていても、会に持ってくる時は、誤解を避けるために、草津川の春
 にするべきなんでしょう。パソコン編集2作目のこと。「オーバーラップ
 プの連続は、アナログでは、デケヘン」と言う声がある。効果のないかも
 オーバーラップだけは、連続が返って、「効果」があるもんだと思いました。

3. 博多祇園山笠追い山 西村 光雄さん 7分30秒
 那須さんと偶然同じ日に、別の場所から撮ったということが解かり、那
 須さんの映像とあわせて、作品にされました。さすが、編集の妙を心得て
 おられるので、違和感が、全くありません。前半に祭りの由来を述べられ
 ています。これが後半のクライマックスをより盛り上げていると思います。
 追い山が、右に入り、左から出てくる間に、1つカットが入りそこで、間が
 抜けたとの指摘がありました。たたみかけるカットつなぎ、こういうすば
 らしい作品には、必需品なのかも知れません。西村さんが言われていたエン
 デングのBGMはいらぬのではないのでしょうか。熱気を含んだSE音のフェ
 ードで充分だと思えます。欲を言えば、その直前に追い山のクライマッ
 スがあれば、一層効果があったのではないのでしょうか。

4. 行く春に名残りを求めて 石垣 禎章さん 9分00秒
 奈良の春を表すいいカットが、随所にあります。ビデオカメラを持つ
 た女性が、突然土塀のところ、なにか、いいわけみたいなことをつぶや
 きながら、うろちょろして、なかなか立ち去りません。司会が言われるよ
 うに、度々出てくる登場人物が気がかりで、題名のカットを落ち着いて見
 れませんでした。いい構図のカットがたくさんあるのですから、仲間うち

の人物を抜いてタイトルどりの描き方をされれば、よかったです。思
いままの別な会話を生かしたら「撮影会仲間達」という作品を石垣
さんの第一人称でナレを入れられたら別の意味で、面白いものになると思
います。筆者の場合、むしろこちらのほうが好きです。

5. ハーベストの丘 森 保信さん 4分59秒

堺・鉢ヶ峰寺に4/11にオープンした緑のミュージアムということで、南
ドイツの村落風に構成されているそうです。池での足こぎボート(4人乗り
1200円)やハーベストトレイン(300円)もあって、大勢の人びとが楽しん
でいる様子を、きれいに撮っておられます。

出来れば、お孫さんでも連れて、子供の目を通して丘の様子を紹介してい
ただければ、もっと身近に感じられたのではと、司会の意見でした。HPで
調べたら、美味しいパン屋さんや小動物と触れ合う広場もあるそうで、折
角900円の入場料をお払いになったのですから、そういうカットがあるとか
なり暖か味のある作品になったように思います。

6. 神功皇后ってだーれだ 安居ファミリー共同作品 7分15秒

「神代の昔の歴史に登場してくる十数人の人物を7分間に理解させようと
するのが土台無理です。」との司会の言葉で、話がわかったかどうかは終
始し、パソコンのCGやテクニクを駆使した内容に話が移行しなかつたのが
が、作者であり筆者として少々残念です。勿論テーマと構成がまずいのが
原因ですが、ビデオ作品の新しい分野を目指したいと思っっています。若い
人と組むと発想が映像的でデジタル的であることを実感します。ノンリニ
アといえる手順を使え、あらたに挑戦してみたいと思っっています。(半分
敗けの屈しみのないで…) (半分負)

7. あれから三十年 江村 一郎さん 6分40秒

筆者の印象が、これほど頼りないものであるとつくづく情けなくなりま
した。といのは、研究会の前作を当時司会した筆者も絶賛したのです。
それなのに、今回の司会と同様、今回に、失望した1人だったからです。
江村さんには、内容をあまり変えていない、といわれますので、2つの作品を
同時に走らせながら比較してみました。今回30年前の映像が少しは長く
入っていきませんが、つなぎ方はほとんど変わっていません。前田さんの高野
山のこととも思いますが、1回目と2回目の視聴者の印象の変化なもので
しょうか。この問題については、研究会で時間があれば、みんな検
討したい題材です。

8. 花の宴 今井 羨美さん 3分30秒

さすがパソコン編集だけあって、タイトルが回転しオープニングにポー
ルが落ちたの季節、節、京都の舞妓さんおそろいの撮影会。題名通りの花
の宴で、折角お金の撮り手も撮ってさよ横切るのたまたま省いて、努力は
相手が動く、難しいと今井さんには、井さはお願ひします。
ては簡単なはずでよろしくお願ひします。
えは簡単なはずでよろしくお願ひします。

9. 大山・若葉の頃 森口 吉正さん 6分15秒

詩情豊かな紀行ビデオの秀作です。一枚一枚のカットより全体の流れを、
森口流のかたりに載せ、飽かずに見せるテクニクや、大寺山寺の歴史をかたり、
志賀直哉の暗夜航路の原稿をまです。筆など見習うべし。今この路線に
これからはどうという方向に向いて、いかなるのか、楽しみ
をかけられるのか。新しい分野に挑戦されるか、楽しみ

10. 風舞 (ふーぶ) 金子 博泰さん 3分45秒
 対象は三田にあるウインド彫刻と、自在金具に取り付けられた翼が風によ
 って、いろいろな動きをします。それを撮りつづけた作品です。金子さん
 は百羅漢の石造の顔と、それを撮りつづけた作品です。金子さん
 解脱の心境を表現されたもので、少しいろいろな動きをします。金子さん
 ットのように、風の舞の観念を、映像で表現する場合は、私達は永遠のテ
 ーマです。これに果敢に挑戦されて、金子さんの姿勢には、脱帽します。

11. パルケエスパニア 有村 博さん 8分10秒
 志摩のスペイン村の様子を、的確なカットで、克明に紹介された作品で
 す。さすがベテランだけあって、フラメンコのおどりは、適度にインサ
 ートカットがあって堪能しました。
 それから敢えて言わせてもらえば、スペイン村の紹介だけで終わっている
 のが、ベテランの作として、チョット物足りなく感じました。作者もあ
 とで言っておられた人の入りが悪い理由を突っ込んでほしかったし、こ
 を訪れて作者は何を感じられたか、ナレか画面で表現してほしかったと思
 いました。いままでに多くの人からスペイン村を見せてもらっています
 で……。(失礼!)

以上で作品上映を終わり、いつものように二次会へと席を移しました。

■新入会者紹介よろしくお願いします。

■安居真知子さん (充氏夫人) : 住所、電話番号はご主人と同じ(箕面市)

■特別会員紹介

江藤洋司さん : 〒444-0821 愛知県岡崎市庄司田3-7-3 グリーン
 ヒル幹201号 TEL, FAX 0564-58-8447

遠隔地のためにあまり出席出来ないということで、作品持参で出席される
 場合のみ会費(1回につき千円)を頂くほか、別にOMCニュース代等と
 して年間2000円を頂戴することにし、特別会員にしました。

■神奈川県映像コンクールの募集が来ています。8月末〆切。要項及び応
 募用紙は7月例会日に希望者へお渡しします。

■会員さんのなかにもこのところノンリニア編集をする方が増えてきてい
 ます。折角パソコン(PC)を買われたのなら、インターネットも始めたら
 いかげんでしょうか。

OMCのホームページ(URL)は <http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>
 です。メールアドレスをお持ちの方は広報担当(前田)までご連絡くださ
 い。例会ニュースが出来次第メールでお知らせしますので、郵送分より早
 くご覧になれます。現在11名の会員さんがメールアドレスを持っています。

VIDEO 6月のインターネット例会作品介绍

「博多祇園山笠追い山」西村 光雄作品 (画像をクリックしてください、スタートします。)

No	Real Video5.0	for 28K modem	1388KB 7分30秒
1			